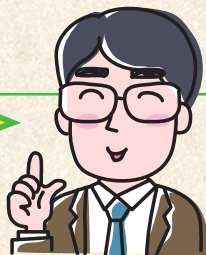


家庭で できる **学力アップ** プロジェクト

～とちぎっ子学習状況調査 3年間の調査結果から～

本県では、平成26年度から「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。これまでの調査結果から、平均正答率と家庭での過ごし方には、深い関係があることがわかってきました。家庭での学習や過ごし方について、お子様と話をする際の参考にしてください。

チェックして
みましょう!



学力を伸ばす **7つの習慣**

- **家庭での学習**
- 授業の復習をしている
- テストで間違えた問題を勉強している
- 学校の宿題のほかに自分で考えた勉強をしている
- 自分で計画を立てて勉強している



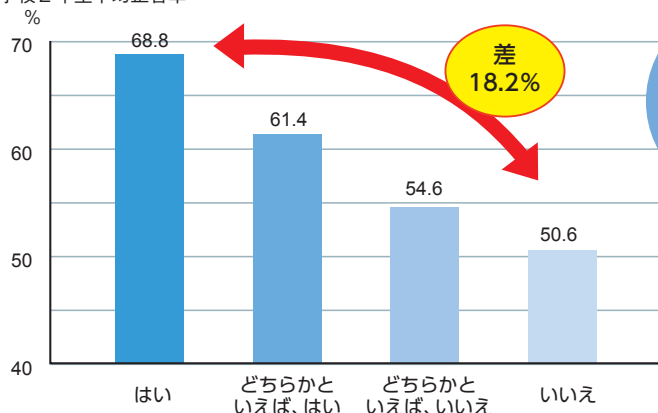
- **家庭での過ごし方**
- 時間を上手に使うことを心がけている
- メールやインターネット、ゲームをする時間が少ない
- 家の人と学校での出来事を話している

家での自主学習や生活のリズムを整えることが大切です！

グラフは、国語、社会、数学、理科、英語の5教科をまとめた平均正答率と質問紙調査の回答結果の関係を示しています。

テストで間違えた問題について勉強をしている

中学校2年生平均正答率



平成28年度とちぎっ子学習状況調査より

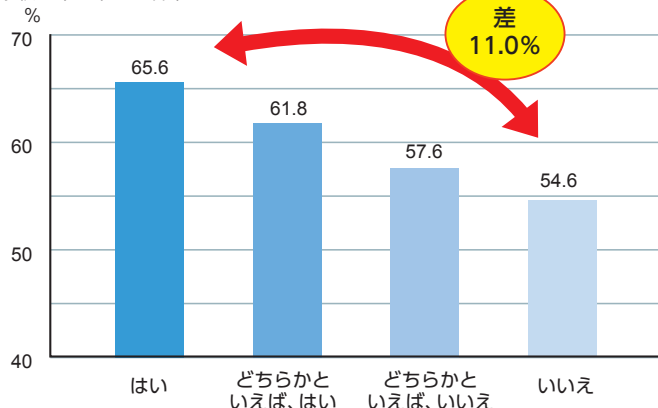
「はい」と答えた生徒は、平均正答率が18.2ポイント高くなっています。



テストの返却時は復習のチャンスです。テストの点数だけでなく、「どこを間違ったのか」「なぜ間違ったのか」を確認し、もう一度解いてみましょう。

学校の宿題のほかに自分で考えた勉強をしている

中学校2年生平均正答率



平成28年度とちぎっ子学習状況調査より

自分で考えた勉強をしている生徒ほど、平均正答率が高くなっています。

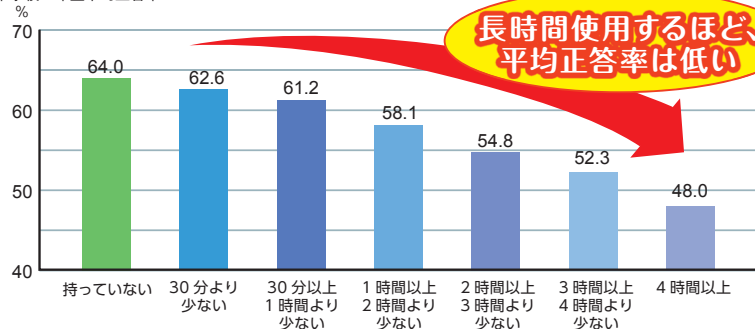


自分の興味・関心に基づく自主学習に取り組むことが大切です。

平日の1日当たりどれくらい携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？

平成28年度とちぎっ子学習状況調査より

中学校2年生平均正答率



携帯電話・スマートフォンの使用は、家庭でのルールが大切！

携帯電話・スマートフォンを持っていない本県の生徒の割合は、中学校2年生で35.9%です。

長時間の使用は家庭学習の妨げになります。生活のリズムを整えるためにも、家庭でのルールを徹底しましょう。